

## 日常生活での感染防止対策の一層の徹底について（斐太高校）

皆さんは、マスクの着用や教室の換気、昼食時の黙食など、基本的な感染防止対策を徹底して学校生活を過ごしていると思います。また、「緊急事態宣言」により、リスクの高い教科等活動の一時的な停止や、部活動が平日4日以内となるなど、活動の制限に負担を感じていることもあると思います。しかし現在、新型コロナウイルスの感染状況において、学校内で感染拡大がみられないのは、皆さんの日常生活での取組の結果なのです。ありがとうございます。もう少し我慢を続けましょう。

ところが、最近、学校外での生活で感染したと思われる事例が発生しました。特に自宅学習期間に入っている3年生の皆さんは、次のことを再確認し、責任ある行動を取ってください。

- 「飲食」を介しての感染リスクは非常に高いことから、「3密」状態で多人数が集まって歌唱や飲食をするカラオケには絶対行かない。
- 自分自身や家族はもちろん、大学入試等を控えている周囲の友人への感染、感染拡大による高校の卒業式や中学3年生が受検する高校入試への影響など、自分の行動が及ぼす可能性のある事態を考える。
- 若い人が感染した場合も、全身倦怠や筋力低下などの後遺症が残ることがある。感染してもすぐに治るから大丈夫ではなく、後遺症で後悔することも起こり得ることを理解する。

新規感染者数は減少傾向にあるようですが、依然として医療現場の方々日々大変な思いをしながら働いてみえます。間もなく高校を卒業して社会の一員となる皆さんは、こうした方々の苦労を思い、今一度、感染防止対策を徹底してください。

保護者におかれましても、飲食のリスクに最大限の注意が必要であること、特に集団での飲食等は徹底回避することや、不要不急の往来を自粛すること、体調不良時の対応の遅れが感染拡大につながるという意識付けなどについて、ご家庭で指導いただきますようお願いいたします。